令和元年度　社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業報告

「人とひとが福祉でつながるまちづくり」　～住民一人ひとりが尊重され、誰もが幸せを感じられる地域へ～ の基本理念のもと、地域共生社会の実現をめざし、「まいさぽ東御」を中心に、総合相談の窓口として生活や就労に困っている市民に向き合い、寄り添いながら自立した生活が送れるよう多機関や市民と協働し、支援しました。

また、住みなれた地域で安心して暮らしていかれるよう、各種団体等と連携協働し、行政とパートナーシップをはかりながら『人とひとが福祉でつながるまちづくり』を進めるため、地域での支え合いの福祉活動の推進に取り組みました。

平成３１年４月から令和２年３月までの主な事業は、次のとおりです。

Ⅰ．組織運営の強化・人材育成

１．　法人組織の運営・体制の強化

（１）　理事会（5 回）

回数・開催日	人数	上　程　議　案
第 76 回 1. 6. 7（金）	13 人	・平成 30 年度事業報告及び一般会計決算 ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の開催について
第 77 回 1. 6. 21（金）	10 人	・会長、副会長及び常務理事の選定について ・顧問の委嘱について
第 78 回 1. 12. 4（水）	12 人	・令和元年度上期事業の概要並びに一般会計中間決算の状況について ・令和元年度一般会計補正予算（第 1 号） ・訪問介護事業所運営規程一部を改正する規程について ・指定障害福祉サービス事業所運営規定一部を改正する規定について ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の開催について ・令和 2 年度事業計画について
第 79 回 2. 2. 21（金）	11 人	・評議員会の開催及び文書審議について
第 80 回 2. 3. 16（月）	11 人	・令和元年度一般会計補正予算（第 2 号） ・令和 2 年度事業計画及び一般会計予算 ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の開催について

（２）　評議員会（4 回）

回数・開催日	人数	上　程　議　案
第 42 回 1. 6. 21（金）	21 人	・平成 30 年度事業報告及び一般会計決算 ・理事及び監事の選任について
第 43 回 1. 12. 20（金）	20 人	・令和元年度一般会計補正予算（第１号）について ・理事の選任について

第44回 2.3.3（火）	22人	・理事の選任について
第45回 2.3.27（金）	16人	・令和元年度一般会計補正予算（第2号） ・令和2年度事業計画及び一般会計予算

（3） 監　査

〇税理士による事前監査

令和元年5月13日（月）　　令和元年11月7日（木）

〇監事による監査

決算監査　令和元年5月22日（水）　中間監査　令和元年11月15日（金）

（4） 支部長会

・期　日　令和元年7月11日（木）
・会　場　中央公民館2階　講義室
・参加者　59人
・内　容　①　令和元年度　社会福祉協議会の会費募集について
　　②　令和元年度　赤い羽根共同募金の取り組みについて

（5） 法人内の連携

・各種プロジェクト（広報・福利厚生）の設置・推進
・グループウェアの導入で、情報共有をはかる
・第2期社協発展・強化計画の推進

（6） 情報共有会議の開催

＜全体会＞　全3回

〇令和元年5月16日（木）　事業計画・予算説明、発展強化計画進捗状況
〇令和元年9月24日（火）　まいさぽの相談状況と課題、ワーク
〇令和2年1月29日（木）　長野市災害ボランティアセンター活動支援

＜部会＞　全11回

〇内容：発展強化計画、事例検討、事業課題と情報の共有
平成31年4月22日（月）、令和元年5月27日（月）、6月17日（月）、7月22日（月）、8月26日（月）、9月30日（月）、10月28日（月）、11月28日（月）、12月23日（月）令和2年1月20日（月）、2月10日（月）

2．自主財源の確保

（1） 社会福祉協議会への寄付

ア．金銭の寄付

個人　6人	6団体	総額　685,440円

イ．ウエス

個人　10人	6団体	合計　16件

ウ．物品の寄付

14 人	2 団体

介護用品		一般物品	食料品
介護ベット　1 台	紙おむつ	肌着類	米
ポータブルトイレ　4 台	尿取りパット	手芸用品	菓子類
車椅子　4 台	リハビリパンツ	さらし	飲料類
シルバーカー　2 台	古タオル類		乾麺類
介護用品	雑巾		その他

（2）　社協会員の加入状況と会費の収納

年度	会員区分	一般会員	賛助会員	法人会員	合　　計
令和元年実績	人　数	6,060 人	819 人	167 法人	
	金　額	6,059,000 円	1,640,000 円	1,565,000 円	9,264,000 円
30 年実績	人　数	6,117 人	873 人	168 法人	
	金　額	6,116,500 円	1,748,000 円	1,585,000 円	9,449,500 円

３．研修事業・人材育成

（1）　役員研修

①　長野県社会福祉大会

・期　日　　令和元年 9 月 20 日（金）

・場　所　　駒ヶ根市文化会館　　参加者　12 人

・式典、表彰　　表彰者　1 団体

・信州共生みらいアイディアコンテスト 2019

プレゼンテーション

表彰式

・　講演

演題「ごちゃまぜで挑む　共生の地域づくり」

講師　公益社団法人　青年海外協力協会会長　　雄谷（おおや）　良成（りょうせい）　氏

②　社会福祉トップセミナー

・期　日　　令和元年 8 月 27 日（火）

・場　所　　塩尻市文化会館（レザンホール）　　3 人出席

・基調講演

「地域共生社会の実現に向けた市町村社会福祉協議会の使命」

同志社大学社会学部社会福祉学科　　教授　上野谷　加代子　氏

・実践報告

「滋賀の縁創造実践センターの実践に学ぶ」

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会
滋賀の縁創造実践センター　　事務局長　谷口　郁美　氏

・対　談

「社会福祉法人との協働による〝あんしん未来〟の創造を考える」

同志社大学社会学部社会福祉学科　　教授　上野谷　加代子　氏
社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会
滋賀の縁創造実践センター　　事務局長　谷口　郁美　氏

（２）　職員研修

①　外部研修

社協職員基礎研修会、会計実務初級講座、経理研修会、安全運転管理者研修会
苦情対応実践講座、日常生活自立支援事業生活支援員研修会
生活福祉資金担当者研修会、生活困窮者支援推進セミナー、権利擁護推進セミナー
信州パーソナルサポート事業支援員研修会
再犯防止推進ネットワーク事業協議会・研修会、相談支援包括化推進員研修
住宅セーフティーネットセミナー、ひきこもり問題の理解促進と支援力向上のための研修会、上田圏域ひきこもり支援従事者研修会、DV とトラウマを理解する研修会
自殺対策関係者研修会、災害ボランティアセンター運営研修会
地域共生社会推進長野フォーラム、結婚支援担当者レベルアップ研修、
学社連携意見交換会、ボランティアコーディネーター研修会
上小地域医療・介護連携推進研究会

②　上小ブロック役職員研修　　中止

・期　日　　令和２年３月 10 日（火）
・場　所　　東御市総合福祉センター3 階　講堂
・内　容　　研修及び情報交換会等

③　関東ブロック職員合同研究協議会

・期　日　　令和元年７月 29 日（月）～30 日（火）　　１人出席
・場　所　　東京都　国際ファッションセンタービル
・内　容

〇基調講演　『今こそ！社協の底力～地域の共創のために～』
講師：日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科　教授　原田正樹　氏
〇６つの分科会で研究協議
〇パネルディスカッション
テーマ「企業・社員と共に豊かな地域を創ろう！」
パネリスト　①ゴールドマン・サックス証券株式会社
コーポレート・エンゲージメント　麻埼　久美子　氏
②荒川ボランティアセンター　　センター長　浅野　芳明　氏
③コーヒーハウス「あめみや」　　店主　雨宮　伸幸　氏
日本そば「美加志屋」　　店主　田中　伸幸　氏

④コーディネーター
東京ボランティア・市民活動センター
企業担当　河村　暁子　氏

（3）　実習生の受入

相談援助実習	長野大学3年　3人	（夏季	8月17日～9月7日）
	3人	（春季	R2.2月14日～2月25日）
	長野大学2年　3人	（春季	R2.2月14日～2月25日）

（4）　職員の講師等の派遣

〇市町村社会福祉協議会実務者会議　　1人
・期　日　　令和元年5月10日（金）
・対象者　　長野県内社会福祉協議会職員　　91人

〇平成30年度長野大学相談援助実習報告会　　1人
・期　日　　令和元年7月13日（土）
・対象者　　長野大学生　50人

〇茨城県生活困窮者自立支援制度主任相談支援員研修　　1人
・期　日　　令和元年8月8日（木）
・対象者　　茨城県生活困窮者自立支援事業　主任相談支援員　22人

〇令和元年度長野大学相談援助実習指導Ⅰ　　1人
・期　日　　令和元年11月14日（木）
・対象者　　長野大学生　20人

〇信州パーソナルサポート事業　子ども家庭支援編2　　1人
・期　日　　令和2年2月3日（月）
・対象者　　長野県生活困窮者自立支援事業相談員・スクールソーシャルワーカー　69人

4．　苦情対応

（1）　苦情受付状況　　期間　　平成31年4月1日～令和2年3月31日

区　分	件　数	内　容
居宅介護支援事業	1	利用者の書類誤送付に対する苦情

（2）　苦情対応実践講座　　令和元年 6月14日（金）　3人出席

（3）　苦情対応システム研修会　　令和元年11月14日（木）　4人出席

5．　連絡調整事業

（1）　福祉関係団体との連絡会議
・期　日　　平成31年　4月 22日（月）　福祉団体長会議
・期　日　　令和元年　 9月　9日（月）　障がい者福祉のつどい実行委員会
・期　日　　令和元年　12月 11日（水）　同　反省会

（2）　民生児童委員協議会との協働

〇地域福祉事業の周知・啓発・事業に関する協力
〇福祉活動に対する助成金の交付
・福祉委員活動費　81 名　405,000 円
・生活福祉資金実費弁償　75 名　225,000 円
〇理事会・地区民協定例会・全体会への出席

（３）　社協法人会員の皆様へ社協事業に対する情報提供

（４）　社会福祉充実計画（困りごと相談）実績額　　－3,990,000 円

Ⅱ　総合相談、支援事業の推進

１．　生活困窮者自立支援事業

（１）　自立相談支援事業

東御市生活就労支援センター「まいさぽ東御」では、幅広い年齢層（10 代～80 代）の相談が 71 件あり、経済的困窮のほか、社会的孤立（若者・ひきこもり・長期離職者・身寄りがない等）や困難な状況（刑余・障がい者やひきこもりと高齢者世帯・ひとり親世帯・外国籍等）を抱えている相談を包括的に受け、行政や多様な機関と連携をして、就労・住まい・家計・子ども等に関する制度や社会資源につなぎ、生活の改善と権利擁護に取り組んだ。また、市民や事業所に取り組みの協力を依頼し、福祉による地域づくりを実践した。

＜相談件数＞　＊相談員：３人

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
新規相談件数	76 件	95 件	84 件	71 件
継続支援件数	439 件	延 430 件	延 639 件	延 807 件
プラン作成件数	39 件	45 件	49 件	59 件
相談対応件数	延　2,500 回	延　2,791 回	延　3,202 回	延　5,044 回

＜新規相談件数の性別・年齢構成＞

年度	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～64 歳	65 歳以上	不明	**合計**
令和元年	5	6	15	18	10	10	6	1	71

＜法に基づく事業の利用＞　令和元年度

制　度	件　数	利用後の経過
住居確保給付金	4 件	食料、就労、住まい、家計
就労準備支援事業	8 件	職場見学、認定就労訓練、職業訓練
認定就労訓練事業	5 件	就労、認定就労訓練継続
自立相談支援事業による就労支援	52 件	職場見学、就労、プチバイト、認定就労訓練等
生活福祉資金等による貸付	4 件	食料支援、就労
生活保護受給者等就労自立促進事業	7 件	就労

＜プラン作成者の支援前の課題（アセスメント）と支援後の状況＞　令和元年度

支援前の課題	件数	支援後の状況	件数
家族関係・家族の問題	21	自立意欲の向上・改善 対人関係・家族関係の改善	32
経済的困窮・病気	14	孤立の解消	27
その他メンタルヘルスの課題 障害（手帳有）	13	精神の安定 社会参加機会の増加	27
家計管理の課題	11	就労収入増加	21

本人の能力の課題 コミュニケーションが苦手 （多重・過重）債務	10	就労開始（一般就労） 家計の改善 生活習慣の改善	13

＜就労に関する実績（法に基づく事業以外）＞　令和元年度

就労支援対象者数	就労者数	プチバイト事業 （就職活動応援金付職場体験事業）	職場見学	協力事業所開拓
41 人	22 人	8 件	14 件	17 件

＜協力事業所登録＞

職場見学・就労体験・プチバイト・認定就労訓練について協力する事業所を募り、登録票を提出の上、パンフレットにした。

○協力企業数…17 か所（H30 年度：12 か所）

製造	農業	運送	福祉・医療	警備	サービス
3	9	2	11	2	2

○協力内容

自立相談支援による就労体験	プチバイト	認定就労訓練	職場見学
3	8	2	14

○就労体験等協力事業所研修会・情報交換会の開催

・期　日　　令和 2 年 2 月 26 日（水）
・場　所　　東御市総合福祉センター３階　講堂
・参加者数　　事業所・関係機関：17 か所、参加者数　18 人
・内　容
◆まいさぽ東御相談状況報告・協力事業所取組み報告
◆研修会
・「だれもが働きやすい職場づくりとは
～若者、障がいや病気を持つ方が働きつづけるために事業所ができること～」
講師：東信労政事務所　特別相談員　白石　真樹氏
・「事業所の取組みや困りごとについて情報交換会と解決のヒント」
助言者：東信労政事務所　特別相談員　白石　真樹氏
上小圏域障害者就業生活支援センターSHAKE　所長　向後　泰雄氏

（2）　家計改善支援事業

家計状況を家計表やキャッシュフロー表に整理し、相談者の家計管理の意欲を引き出す相談支援をした。また必要に応じ、債務整理や貸付のあっせん、支出減の助言や支援を行った。

＜利用件数と利用による改善状況＞

○利用件数（プラン作成件数）　12 件

○利用による改善の状況　（利用件数 12 件のうち、改善状況を、1 件につき複数カウント）

内　容	件数	内容	件数
自身の家計の現状把握	12	将来の収支変化の見通し	8
家計管理の重要性の認識	9	自立意欲の向上・改善	7
支出費目の優先順位位置付け	6	生活習慣改善	6
家計の範囲内での支出	5	対人関係・家族関係の改善	4

（3）子どもの学習支援事業

基礎学力向上や、生活習慣や家庭文化を学び、支援員との交流により、子どもの孤立を防いだ。支援により高校卒業等が実現した。

＜利用件数＞

利用者数	実施日数	実施時間	支援員数
3 名	40 日	99 時間	4 名

＜結果・改善状況＞

支援結果・経過	件数
生活習慣の習得	2
学校生活の定着	2
高校中退防止と卒業	2
自己有用感・自身を持つ	3
孤立防止	3

（4）会議・研修等

支援調整会議　12 回　　研修・支援員連絡会議　16 回　　全県・広域会議　5 回

（5）周知活動

市内・外団体が主催する学習会・講演会等にて事業説明　3 回

各種相談会　2 回

2．日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある判断能力が不十分な方々が、東御市で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などに関わる相談などの援助をした。

専門員　：5 人　　生活支援員：5 人

（1）相談件数　延 2,849 件（新規・既契約含む）

専門員訪問調査回数	利用援助回数	ケース検討会議	書類等預かり件数
延 311 回	延 785 回	延 56 回	27 人　101 件

（2）実利用者数　26 人

	認知症	知的障がい者	精神障がい者	その他	合　計
新規	0	2	0	0	2

解約	1	1	1	0	3
総件数	6	9	6	5	26

＊新規契約件数 2 件 、解約件数 3 件（うち成年後見制度移行件数 0 件）

（3） 専門員・支援員利用援助回数　　延　785 回

（4） 金銭管理、財産保全サービス事業　　（市社協扱い）契約件数　　1 件

3． 生活困難・困窮者への支援

（1） 生活支援の貸付相談件数　　延　168 件

（2） 生活資金貸付総件数　（市社協扱い）

◆生活資金（助け合い資金）　37 件　　599,000 円

（3） 生活福祉資金貸付総件数　（県社協扱い）

◆福祉資金　2 件　2,351,000 円
◆総合支援資金　3 件　2,100,000 円
◆緊急小口資金特例　2 件　300,000 円
◆教育支援資金　1 件　708,000 円

（4） 緊急食料支援件数

○食料寄贈受入

寄贈者	寄贈受入件数	寄贈個数	寄贈食料(kg)	寄贈米（kg）
個人・・・3 人	3	18	6.3	83.1
団体・・・3 団体	延べ 12	1,308	237.3	142
企業・・・1 社	1	121	21.5	0

（　※アルファー米、缶詰、レトルト食品、味噌汁、カップ麺等　）

○食料支援

支援者	支援世帯数	延支援回数
東御市社会福祉協議会独自支援	39	62
フードバンク信州（ななせ仲まち園）	22	82

（5） 生活福祉資金等貸付相談嘱託員の設置　　相談員　　5 人

・滞納世帯への訪問　　58 回
・償還延回数　　13 件
・償還額　　16,000 円

4． 結婚相談事業　　478,767 円

（1） 相談状況　　相談員　　5 人

・相談日　　毎週日曜日　　午前 9 時～正午

・相談場所　　中央公民館　学習室

開催日数	相談件数	相談登録者数	お見合い件数	結婚成立件数
42 日	延　162 件	225 人 (男 166 人女 59 人)	19 件	5 件

（２）　東御市結婚活動支援実行委員会

・結婚相談員（会長）と社協事務局担当者が実行委員として参加

・講演会及びイベントの協力（随時）

（３）　三市町村結婚相談員連絡会事業　（東御市、長和町、青木村）

①　三市町村との結婚相談員連絡会及び情報交換会

・年間（毎月開催）11 回　　参加人数　　延 55 人

②　出会いのイベント

〇東御市社協ミニイベント

「まったりミニ婚活から始まる出逢い」

10 月 27 日 中央公民館　マッチング 1 組

５．赤い羽根地域生活支援公募配分事業

長野県共同募金会の地域生活支援公募配分事業の決定を受け実施し、相談者や地域社会とのつながりが薄く地域社会に居場所や役割が少ない人など、人とのつながりの中で自立に向けた歩みができるよう、地域社会で支え合うしくみをつくった。

（１）子どもだれでも居場所づくり事業　通称：「くる me」

市内社会福祉法人と協働実施により、各種相談事業や関係機関が声掛けを行い、親子や青年から高齢者と学生や市民ボランティアが協働し、誰もが役割を持ち、自己肯定感や人とのつながりで安心できる居場所づくりを行った。

〇場所：特別養護老人ホーム　ケアポートみまき

実施日	全参加人数	スタッフ	大人	大学生	高校生	中学生	小学生	未就学
4/27	36	9	14	4	1	2	4	2
5/22	22	9	7	5	1	0	0	0
6/22	27	10	7	4	1	0	2	3
7/17	27	5	10	3	3	0	2	4
8/24	31	11	11	4	0	0	2	3
9/28	26	7	11	4	1	0	1	2
11/16	31	9	7	5	1	0	5	4
12/21	58	9	13	9	4	0	12	11
1/25	31	8	6	5	0	2	3	7
2/22	24	8	3	11	0	0	2	0
合計	313	85	89	54	12	4	33	36

（２）仕事・生活サポーター事業

まいさぽの相談者やその子どもに、オーダーメイドの支援をするために、市民に支援員（サポーター）登録について依頼をした。生活改善や自立に向け、支援員が相談者との人間関係を築き、まいさぽと常に連携と相談をしながら、伴走支援を行った。

○実績数

利用者数	利用回数	サポーター数	支援内容	孤立防止	生活・社会自立意欲喚起	就労自立意欲喚起
7 人	62 回	5 人		6	7	5

Ⅲ　地域福祉活動

【 地域ささえあい活動の支援・推進 】

１．　おらほの地域福祉づくり事業

＜継続支部＞　　１１支部　　330,000 円

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
加沢	2 年目	支えあいマップづくり
城ノ前	2 年目	助け合い・支え合いの仲間づくり
海善寺北	2 年目	支えあいマップづくり
栗林	2 年目	災害時支えあい台帳づくり
田楽平	2 年目	いきいきサロンの活性化
片羽	3 年目	いきいきサロンの活性化
西宮	3 年目	いきいきサロンの活性化
伊勢原	3 年目	地域の見守り活動
海善寺	3 年目	災害時支えあい台帳づくり
上八重原	3 年目	いきいきサロンの活性化
御牧原南部	3 年目	災害時支えあい台帳づくり

＜新規支部＞　　9 支部　　270,000 円

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
本海野	新規	災害時支えあい台帳づくり
西海野	新規	災害時支えあい台帳づくり
桜井	新規	いきいきサロンの活性化
新張	新規	地域の絆を深める活動
金井	新規	いきいきサロンの活性化
東町	新規	災害時支えあい台帳づくり
東深井	新規	災害時支えあい台帳づくり
西深井	新規	災害時支えあい台帳づくり
切久保	新規	災害時支えあい台帳づくり

２．　支部福祉活動の支援

（1）　支部福祉活動助成金の交付　　67 支部　　2,002,000 円

（2）　地区別地域福祉懇談会　　40,138 円

・総参加者数　　257 人

・内　容　　社協の事業説明、福祉運営委員の活動説明、支部ごとの懇談等

地区	開催日	場　所	人数
田中	令和２年２月 21 日（金）	中央公民館	49 人
滋野	令和２年２月 19 日（水）	滋野コミュニティーセンター	59 人
祢津	令和２年２月 25 日（火）	総合福祉センター	37 人
和	令和２年２月 14 日（金）	和コミュニティーセンター	54 人
北御牧	令和２年２月 17 日（月）	北御牧公民館	58 人

（３）　いきいきサロン等助成事業　　1,420,090 円

・実施支部　　48 支部　　・総参加者　10,638 人

事　業	会　食　会	茶　会	世代間交流	ふれあい訪問
回　数	213 回	163 回	4 回	20 回
参加者数	6,328 人	3,220 人	91 人	999 人

（４）　地域活動援助講座

○　いきいきサロンのための料理講習会　　2 回

・対象者　　各区福祉運営委員

・講　師　　東御市食生活改善推進協議会会員

期　日	テーマ	参加者
5 月 27 日(月)	いきいきサロンのための手軽に作れるおやつ	19 人
7 月 31 日(水)	いきいきサロンのための手軽に作れる昼食	22 人

（５）　地域の絆づくり支援事業

・レクリエーション用品の貸し出し

（ハンドベル、お手玉、輪投げ等ゲーム用具等）　　97 件

・支部福祉活動の相談会　　19 回

（６）　地域への出前講座　　57 回

講　　座	回数	講　　座	回数
介護予防体操（レクリエーション）	20 回	エンディングノート	3 回
認知症講座	4 回	レクリエーション等補助	7 回
介護保険の上手な使い方	2 回	ようこそ！社協	0 回
ボッチャ体験	21 回	その他	0 回

（７）　福祉運営委員長研修会　　18,260 円

・期　日　　令和元年５月 18 日（土）

・参加者　　福祉運営委員長　37 人（65 人中）

・研修内容　(1) 講演・演習　　「簡単に身体も心もほぐれるストレッチ体操」

講師：横井　佳代　氏　（身体教育医学研究所）

(2) 事例紹介　　「地域サロンのススメ方」
～みんな違ってみんなサロン?!多様なサロンのカタチ～
担当：社会福祉協議会 地域福祉係
(3) 説　　明　　地域福祉活動の推進について

３． 福祉のまちづくり講座「とうみ男の遊び塾」　34,155 円

◆延べ参加者　39 人　◆参加申込者数　15 人

回数	開催日時	開催内容	開催場所	参加人数
1	令和元年 9 月 18 日（水）	男の焼き芋塾	総合福祉センター	11 人
2	令和元年 11 月 25 日（月）	男の宿場歩き塾	塩尻市方面	14 人
3	令和 2 年 1 月 22 日（水）	男の紙模型塾	総合福祉センター	10 人
4	令和 2 年 3 月 18 日（水）	男の料理塾	総合福祉センター	中止

４． 介護講座「あった介護教室」

・テーマ　“リフレッシュのための健康体操”
・期　日　令和 2 年 1 月 15 日（水）
・会　場　東御市総合福祉センター2 階　高齢者センター大広間
・参加者　介護者及び介護に興味・関心のある者 8 名

５． 福祉自動車貸し出しサービス事業

・登録者　利用会員数　73 人
・利用延回数　108 回

６． 福祉用具貸与事業　368,440 円

貸出物品	備品台数	利用件数
介護用ベッド	63	78
車椅子	91	144
マットレス・エアマット	60	77
ポータブルトイレ	42	46
その他（歩行器等）	22	14
合　計	278	359
※車いすの利用件数の内、57 件は短期間の貸出件数		

【 共同募金配分事業 】

１． 高齢者への活動

（1） ひとり暮らし高齢者の福祉サービス

○ふれあい会食会　398,013 円

・期　日　令和元年 6 月 27 日（木）
・場　所　上山田温泉　圓山荘

・参加者　　一人暮らし高齢者　　59 人参加

〇おせち料理　249,729 円

・期　日　　令和元年 12 月 29 日（日）、30 日（月）

・調理ボランティア　　女性民生児童委員　　延　55 人

・訪　問　　担当民生児童委員　　延　62 人

・対象者

一人暮らし高齢者	高齢者世帯	父子家庭	障がい者世帯	合　計
107 人	12 世帯	2 世帯	14 世帯	135 世帯

（２）　敬老祝賀事業

〇金婚祝賀　　祝品（慶祝上の額）の贈呈　43,750 円

・金婚祝賀式典　　令和元年 9 月 20 日（金）

・該当者　　35 組

・会　場　　中央公民館　講堂

〇敬老祝賀　　祝品の贈呈　650,000 円

・対象者　　合計　　210 人（米寿祝 200 人・白寿祝 10 人）

・祝賀訪問 51 人　　令和元年 9 月 25 日～26 日

２．　障がい者への活動

（１）第 16 回障がい者福祉のつどい（実行委員会への補助）　128,145 円

・期　日　　令和元年 11 月 23 日（土）

・会　場　　中央公民館　講堂

・参加者　　福祉団体等から　　150 人

・内　容

■活動アピール

●「スペシャルオリンピックスの活動について」

柳澤　智子　氏

●「ユニバーサルスポーツの啓発活動について」

身体教育医学研究所　所長　岡田　真平　氏

■アトラクション

発表団体　　ダンスグループ　からふる

■昼食交流会

（２）障がい者社会参加支援事業助成　150,000 円

①　笹川スポーツ財団「チャレンジデー in 東御」における「ボッチャ」の実施

開 催 日　　令和元年 5 月 29 日(水)

場　　所　　道の駅「雷電くるみの里」・ケアポートみまき

対　　象　　市民　　参加人数：100 人

内　　容　　ボッチャ体験コーナーを開設

②　パラリンピアン交流イベント「みんなのスポーツ体験会」

開 催 日　　令和元年 6 月 15 日(土)

場　　所　　第 2 体育館

対　　象　　市民　　参加人数：65 人

内　　容　　ボッチャとシッティングバレーの体験会

③　第2回長野県民パラスポーツ大会の開催支援

開 催 日　　令和元年9月29日(土)

場　　所　　第1体育館

対　　象　　県内16チーム　参加人数：78人

内　　容　　ボッチャ競技会

④　上小地区障がい者福祉施設連絡協議会　ボッチャ審判講習会

開 催 日　　令和元年10月1日(火)

場　　所　　第1体育館

対　　象　　参加人数：5人

内　　容　　ボッチャ審判講習会

⑥　東御市総合体育大会　ユニバーサルスポーツ部門

開 催 日　　令和元年10月6日(日)

場　　所　　北御牧中学校体育館

対　　象　　東御市から16チーム　参加人数：68人

内　　容　　ボッチャ競技会

⑦　上小地区障がい者福祉施設連絡協議会　レクリェーション大会

開 催 日　　令和元年10月10日(土)

場　　所　　第2体育館

対　　象　　参加チーム・人数：9チーム・53人

内　　容　　ボッチャ競技会

⑧　長野県ボッチャ競技大会「パラウェーブNAGANOカップ」東信大会

開 催 日　　令和元年11月9日(土)

場　　所　　第1体育館

対　　象　　東信地域内28チーム　参加人数：127人

内　　容　　ボッチャ競技会

※　11.4南信大会・R2.2/8県大会へ審判等スタッフの派遣協力

⑨　ユニバーサルスポーツの場づくりへの支援

1)「わくわくスポーツクラブ」への支援

開催形態　　令和元年5月～2年1月　　全8回

毎月第3土曜日、いずれも10：00～12：00

場　　所　　東御市第2体育館・福祉センター

対　　象　　クラブ登録者68人　　延参加人数：357人

内　　容　　『ボッチャ』を中心とした活動。

2) とうみボッチャ交流大会開催支援

開 催 日　　令和2年2月8日（土）

場　　所　　北御牧中体育館

対　　象　　わくわくスポーツクラブ登録者、他　　参加人数：18チーム　78人

内　　容　　ボッチャ交流大会

3) 障がい者のスポーツ参加のきっかけづくり支援

- 北御牧地区冬季スポーツ大会　ボッチャ競技支援
- 長野県障がい者スポーツ指導者協議会　ユニバーサルスポーツ体験会支援
- 市内福祉・介護施設、教育機関、地区公民館等との連携

３．ボランティア活動

（1）　ボランティア連絡協議会・ボランティア団体活動補助金(29団体)の交付 495,000円

（2） 男性の料理サロン「楽ちん・しあわせごはん」　　4回　　95,882円

期　日	テーマ	参加者
令和元年　8月17日（土）	アボカドチーズ丼　他	8人
10月19日（土）	フライパングラタン　他	13人
12月21日（土）	手打ちそば、そば寿司　他	13人
令和2年　2月 8日（土）	手作りローストビーフ寿司　他	12人

4． 児童への活動

（1） ひとり親家庭交流支援事業　　550,642円

・期　日　　令和元年12月7日（土）
・場　所　　東京ディズニーランド
・参加者　　23世帯（大人23人・子供28人）

（2） 福祉協力校の指定、活動助成（8校）　　400,000円

5． 社会福祉の啓発

（1） 社協報「ほほえみ」（ボランティア情報「かわら版」含）の発行　　2,425,488円

・発行回数　　年6回　　奇数月の16日発行
・発行部数　　10,800部
・編集委員　　2人

（2） 啓発パンフレットの作成、配布　　176,000円

・「社協のしおり」600冊

（3） ホームページでの情報発信

［アドレス　　URL　http://www.tomisyakyo.or.jp］

（4） 介護の日「福祉講演会」の開催　　66,722円

・期　日　　令和元年11月9日（土）
・場　所　　東御市総合福祉センター３階　講堂
・来場者　　68人
・内　容　　◆福祉講演「高齢者の悩みごとに寄り添う」
講師　　弁護士・社会福祉士　山 田 啓 顕　氏

6． 多世代サロン

（1） 多世代交流サロン　“おいでよサンサン”　　288,962円

・開催回数　　合計11回　　（平成31.4～令和2.2　各月1回　　令和2.3中止）
・参加者数　　延　106人
男：9人　　女：97人
・内　　容　　子供から大人まで多世代にわたり交流する拠点づくりと、高齢者の生きがいづくり、世代間の知恵の継承や情報伝達の場づくり

Ⅳ　福祉教育、ボランティア活動の推進

１．　福祉教育の推進

＜活動内容＞

学校名	内　　容
田中小	福祉体験学習、童謡唱歌「くるみの会」との交流会、福祉施設入所者との交流、エコキャップ収集、書き損じ葉書収集など
滋野小	福祉体験学習、エコキャップ収集、書き損じ葉書収集、滋野保育園児との交流、福祉講演会、デイサービスともがきの利用者との交流など
祢津小	福祉体験学習、祢津保育園との交流、ネッツタイムで地域の方と交流、特別支援学級との交流など
和　小	和保育園との交流、福祉体験学習、赤い羽根共同募金、ユニセフ募金、エコキャップ・アルミ缶集め、書き損じ葉書収集など
北御牧小	福祉体験学習、ケアポートみまき利用者との交流、特別支援学級との交流会、赤い羽根共同募金など
東部中	道の駅「雷電くるみの里」清掃活動、サマーチャレンジボランティア、ケアポート祭りボランティア、赤い羽根共同募金使用済み切手収集など
北御牧中	ケアポートみまき利用者との交流、職場見学、人権教育講演会、敬老会参加、アルミ缶・書き損じ葉書・牛乳パック等の収集など
東御清翔高	全校クリーン作戦、子どもフェスティバル、親子ふれあいキャンプ、子ども塾など

＜福祉体験学習＞

学校名	実施回数	講師	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	延人数	内　　容
田中小	4 回	4 名	19 名	360 名	ボッチャ体験、手話体験、点字体験、車いす体験
滋野小	5 回	5 名	16 名	186 名	アイマスクボッチャ体験、対話型鑑賞体験（アイマスク体験）、車いす体験、手話体験、点字体験
祢津小	5 回	9 名	15 名	220 名	高齢者疑似体験、手話体験、点字体験、車いすツインバスケット体験、車いす体験
和　小	1 回	1 名	1 名	9 名	手話体験
北御牧小	5 回	9 名	16 名	180 名	車いすツインバスケット体験、高齢者疑似体験、対話型鑑賞体験（アイマスク体験）、手話体験、点字体験

２．ボランティア活動の推進

（1）　ボランティアに関する登録・相談・情報提供・調整の状況

・ボランティア団体登録数　82 団体

・ボランティアバンク登録者数　69 人　　延　5,336 人

・相談者数　　3,570 人

（来所 1,270 人・電話 1,077 人・メール 343 人・訪問 189 人・その他 761 人）

・相談件数　　ボランティア依頼・受付・相談等　延 6,582 件

・ボランティア相談・依頼件数　　音訳・点訳・施設ボラ、出前講座等　延 1,404 件

（2）　ボランティア活動保険の補助　　合計　711 人　　129,720 円
加入者数　Aプラン　18 人
Bプラン　693 人（天災Bプラン　11 人含）（社協負担　210 円）

（3）　ボランティア連絡協議会の活動支援
①　自然を楽しむ会　（障がい者とボランティアの交流会）
・期　日　　令和元年 5 月 21 日（火）
・場　所　　嬬恋加沢休暇村
・参加者　　14 団体　　60 人参加
②　ボランティアセンター研修会（御代田町ボランティア地域活動連絡協議会）
・期　日　　令和元年 10 月 11 日（金）
・場　所　　東御市総合福祉センター３階講堂
・参加者　　14 団体　　37 人参加
・内　容　　御代田町ボランティア地域活動連絡協議会との交流会
③　令和元年台風 19 号災害支援チャリティバザー
・期　日　　令和 2 年 2 月 1 日（土）
・場　所　　東御市総合福祉センター３階講堂
・参加者　　前日準備：20 団体　　41 人参加
当日：17 団体　　46 人参加

（4）　上小ブロックボランティアフォーラム
・期　日　　令和元年 9 月 28 日（土）
・場　所　　東御市総合福祉センター３階講堂
・参加者　　90 人参加
・内　容　　(1) 講演会
演題「パラスポーツを楽しもう」
講師　NPO 法人 D-SHiPS32　代表　上原大祐　氏
(2) ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」体験会
指導　公益財団法人 身体教育医学研究所　所員

（5）　信州発ボランティア・市民活動フォーラム
・台風 19 号災害のため開催中止

３．ボランティアの養成、研修

（1）　夏のボランティア体験教室（サマーチャレンジボランティア）
・期　日　　令和元年 8 月 17 日（土）
・場　所　　東御市総合福祉センター３階研修室及び東御市第二体育館
・内　容　　とうみユニバーサルスポーツクラブが行っているボッチャのクラブ活動への参加
・参加者　　15 人（体験者 10 人・実習生 3 名・ボランティア 1 名・社協職員 1 人）

（2） 手話ボランティアスキルアップ講習会　　2回

・期　日　　令和元年11月17日の午前・午後各1回
・内　容　　充実コース２回
・参加者　　延　10人
　　講　師　　長野県聴覚障害者協会登録講師　　本木　理恵　氏

（3） 音訳ボランティア養成セミナー　　3回

・期　日　　令和2年2月13日、2月20日、2月28日
・会　場　　総合福祉センター　ボランティアルーム2
・参加者　　延　14人（りらの会入会5人）
・講　師　　元ＳＢＣアナウンサー　大久保智恵子　氏、音訳利用者　両角雪弥　氏
　　りらの会会員、社協職員

（4） 音訳スキルアップ講習会　　4回

・期　日　　令和元年9月26日、10月11日、11月6日、11月22日
・参加者　　延　38人
・内　容　　朗読技術向上
・講　師　　元ＳＢＣアナウンサー　　大久保　知恵子　氏

（5） 点訳スキルアップ講習会　　3回

・期　日　　令和2年2月15日、2月29日、3月14日
・会　場　　総合福祉センター　ボランティアルーム2
・参加者　　延　12人
・講　師　　上田点字図書館　上原道夫　氏

（6） 災害ボランティア養成講座

・期　日　　令和2年3月7日（土）
・会　場　　総合福祉センター　3階講堂
・内　容　　新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

（7） 福祉教育サポーター養成講座

・受講者が集まらなかったため開催中止

（8） ボッチャサポーター養成講座

・期　日　　令和2年1月11日、1月18日、2月8日
・会　場　　総合福祉センター3階講堂、北御牧中学校体育館
・参加者　　延　12人
・講　師　　半田秀一 氏（身体教育医学研究所）

４．福祉の森ふれあいフェスティバル

・期　日　　令和元年10月26日（土）
・内　容　　台風19号災害のため開催中止

５．福祉施設ボランティア担当者連絡会議

・期　日　　令和元年 5 月 30 日（木）
・参加者　　12 人
・内　容　　ボランティア受入の意見交換について

６．ボランティアセンター運営委員会の開催

・期　日　　令和元年 7 月 11 日（水）
・参加者　　13 人
・内　容　　ボランティアセンターの現況と今後の課題について

Ⅴ　在宅福祉サービス・支援事業

１．　高齢者支援

（１）　介護予防事業の運営　（市受託）　6,340,901 円

介護予防事業	利用実人員	延利用者	実施日数	一日平均
ミニディサービス（火）～（金）	37 人	1,143 人	167 日	6.8 人
筋トレ教室（月）	6 人	201 人	37 回	5.4 人

※令和２年３月は新型コロナ感染症予防対策の為ミニデイ・筋トレ事業は休止

（２）　こんにちは訪問事業（安否確認事業）（市受託）　17,064 円

・2 支部　利用者実人数　3 人
・訪問活動者実人数　15 人
・ヤクルト配布本数　316 本

（３）　寝具洗濯乾燥サービス事業（市受託）　540,836 円

・実施回数　2 回（6 月・11 月）
・利用実人数　62 人
・利用者数　延 97 人
・利用枚数　180 枚
・対象者　寝具の衛生管理が困難な者

（４）　在宅介護者リフレッシュ事業（市受託）　134,681 円

・実施回数　3 回
・内　容　健康相談、介護技術講習、健康体操、介護者交流、元気回復等

実　施　日	場　　所	参加者
令和元年 7 月 5 日（金）	南相木村　滝見の湯、南相木ダム	10 人
令和元年 11 月 6 日（水）	小布施町　桜井間甘精堂工場見学、りんご狩り	13 人
令和２年１月 15 日（水）	介護教室　リフレッシュのための健康体操	8 人
令和２年３月 4 日（水）	松本市美術館　林檎の湯屋「おぶ～」	中止

（５）寝たきり高齢者希望の旅事業　238,458 円

・期　日　令和元年５月 29 日（水）
・場　所　諏訪方面　オルゴール記念館すわのね（見学）、
　諏訪湖観光汽船（遊覧船乗船）、双泉の宿「朱白」（昼食・買物）
・内　容　バス旅行、交流会、福祉相談
・参加者　要介護者６人、家族介護者２人、介助ボランティア６人
　社協職員２人　計 16 人

（６）家族介護者サロン“太陽の会“　交流会

・期　日　令和元年５月 15 日、9 月 4 日、令和２年１月 15 日
・会　場　高齢者センター　大広間

・参加者対象者　　22 人　　延 22 人

２．　障がい者支援

（１）　重度障がい者希望の旅事業　　331,096 円

・期　日　　令和元年 9 月 7 日（土）

・場　所　　山梨県　響の里（見学・昼食）、古柏園（ぶどう狩り）

・参加者　　心身障がい者 10 人、介護者 2 人

ボランティア 10 人、社協職員 2 人　　計 24 人

（２）　視覚障がい者への音訳、点訳サービス支援　　442,393 円

利用者　　8 人

・音訳・・・市報、市報お知らせ版、社協報、他

・点訳・・・生涯学習カレンダー、選挙公報、社協報、他

Ⅵ　介護保険事業と障害福祉サービス

１．　訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

（１）訪問介護・介護予防日常生活支援総合事業（訪問型独自サービス）

要介護又は要支援の認定を受けた方を対象に、訪問介護計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護及び生活援助等のサービスを提供した。

重度の利用者の入院・死亡や、自宅で介護保険のサービスを利用しながら生活される利用者も減る傾向にあり、利用者の減少につながった。

〇ホームヘルパー数　　8 人

〇利用総数　　延　403 件

＜介護度別　延利用者数＞

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
令和元年度	36	116	112	70	15	20	34	403
割合	9	29	28	17	4	5	8	100
30 年度	25	53	82	102	41	39	41	383

＜月別利用者数　　要介護 1～5＞　　利用実人員　　34 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和元年度	26	24	20	22	23	23	19	18	18	18	19	21	251
30 年度	23	26	25	26	30	30	26	25	25	24	22	23	305

＜月別利用者数　　要支援 1・2＞　　利用実人員　　18 人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和元年度	8	10	11	13	13	13	13	13	14	14	15	15	152
30 年度	6	6	6	6	6	6	7	6	6	7	8	8	78

＜サービス内訳＞

ｻｰﾋﾞｽ名	予防介護		身体介護		身体・生活		生活援助		総合計	
回数 時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間
令和元年度	593	625	2, 344	1267	264	362	306	250	3507	2, 504
月平均	49	52	195	105	22	30	26	21	292	208
30 年度	311	224. 5	2, 889	1953, 5	389	410	662	354	4, 251	2, 942

（２）障がい福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

障害支援区分認定を受けた方のうち、介護給付費支給決定を受けた方を対象に、居宅介護等計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護、家事援助及び外出時介助等のサービスを提供した。

介護保険事業と比較し障がい福祉サービスは、専門資格及び経験が必要であるため、研修の受講・資格取得等を今後どのようにしていくか検討が必要である。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
令和元年度	14 人	117 人	933 回	1,232.25 時間
30 年度	14 人	115 人	1009 回	1,254.75 時間
増減	+0	+2 人	−76 回	−22,5 時間

（３）地域生活支援事業（移動支援事業）

障害支援度区分認定を受けた方のうち、社会活動等のための外出に係る支援が必要な方に対し、ホームヘルパーを派遣して外出に係る移動の支援等の必要なサービスを提供した。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
令和元年度	8 人	47 人	367 回	576 時間
30 年度	7 人	48 人	386 回	484.5 時間
増減	+1 人	−1 人	−19 回	+91.5 時間

（４）ほほえみサービス事業（自費サービス）

制度外のサービスを希望される方に対し、ホームヘルパーを派遣し希望されるサービスを提供した。独居・老世帯の方の入院中の洗濯サービス等、制度では対応できないニーズへの対応を図った。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間	家事援助	通院介助	身体
令和元年度	4 人	73 回	37 人	75.5 時間	75.5 時間	0 回	0 回
30 年度	4 人	51 回	15 人	51.5 時間	51 時間	0 回	1 回
増減	0 人	+22 回	+22 人	+24 時間	+24.5 時間	0 回	−1 回

（５） 養育支援訪問事業（市委託）

保護者が事由等により養育が一時的に困難となり支援が必要だと判断された家庭に対し、家事支援等を提供した。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間
令和元年度	3 人	24 回	5 人	24 時間

（６）内部研修

毎月１回、ヘルパー全員参加での研修を実施。サービスの質の向上や法令順守等の定期的な研修を企画・実施した。

認知症研修等必要とされる研修の他にも、日々の訪問業務の中での実技研修等、その時々の状況に即した内容の研修となるように努めた。

＜その他の活動＞

・広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載

＜定例会議・研修実績＞

月	研　　修　　内　　容
4 月	・利用者への観察と報告　対人援助
5 月	・脱水症と熱中症について ・平成 30 年度　事業報告
6 月	・実践研修　　負担の少ない介助法について
7 月	・相談援助と面接の理解 ・介護倫理
8 月	・利用者を知るためのコミュニケーション
9 月	・障がい者支援の基本的対応について
10 月	・実践研修
11 月	・介護保険制度の理解
12 月	・利用者への観察と報告
1 月	・自己評価　　振り返り
2 月	・食中毒と感染症について
3 月	・令和 2 年度の個別研修計画のついて

2．　居宅介護支援事業

市から介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援事業の一部を受託し、要支援認定を受けられた方も、要介護認定を受けられた方も、各種のサービスなどを利用しながら自宅でその人らしい生活ができるよう、本人、家族等に寄り添い、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、各サービス事業所との連携調整を図り、継続的な利用者の心身状況・生活状況、サービス利用状況等の確認を実施した。

また、広域連合からの介護認定調査の受託や、特定事業所加算Ⅱ算定事業所であるため、地域包括支援センターからの対応困難ケースの受け入れにも積極的に取り組み、毎朝のミーティングを行う等ケースの情報の共有や、定期的・計画的な研修の実施を行う等職員のスキルアップも図り体制の強化に努めた。

〇ケアマネージャー人数　　5 人　　〇利用総数　　延 1,679 件

＜活動状況＞

業　務	介護	介護予防 介護予防ケアマネジメント	計
ケアプラン作成総件数（給付管理件数）	1,679 件	103 件	延　1,782 件
モニタリング訪問件数	1,679 件	42 件	延　1,593 件
要介護認定調査（広域連合から）	37 件	0 件	実績　37 件
担当者会議開催件数	239 件	9 件	延　248 件
アセスメント実施件数	239 件	9 件	延　248 件
事例検討実施件数	30 件	0 件	延　30 件

対応困難ケース受け入れ件数	14 件	0 件	延　　14 件

＜月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数＞

		30 年度実績	令和元年度実績	増減
延作成件数	介護	1,551 件	1,679 件	＋128 件
	介護予防	75 件	103 件	＋28 件
月平均	介護	129 件	139.9 件	＋10.9 件
	介護予防	6.2 件	8.6 件	＋2.4 件

＜月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数＞

○要介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和元年度	138	135	133	132	132	143	148	148	149	143	140	138	1,679
30 年度	129	129	126	130	131	130	132	128	127	127	130	132	1,551

○要支援　介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和元年度	6	6	8	8	9	8	8	10	10	10	10	10	103
30 年度	7	6	6	8	7	7	7	6	5	6	6	4	75

＜介護度別ケアプラン作成件数＞

○要介護

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
件数	618	547	268	157	89	1,679
月平均	51.5	45.6	22.3	13.1	7.4	139.9

○要支援

介護度	支援 1	支援 2	計
件数	37	66	103
月平均	3.08	5.5	8.58

＜研修実績＞

月	研　　修　　内　　容
4 月	・福祉用具研修（自立を助ける住環境つくり） ・介護支援専門員研修援助者フォローアップ研修
5 月	・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・介護支援専門員更新研修（15～17） ・ケアマネネット部会：事例検討

6 月	・多職種連携会議 ・介護支援専門員上小支部研修会（適切な距離としなやかな生き方） ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討 ・リハビリサロンユメリア運営推進会議
7 月	・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討 ・主任介護支援専門員更新研修（3～5） ・介護支援専門員更新研修（17～19） ・どんどん外出するための環境つくり ・管理者研修・リスクマネジメント
8 月	・東御市地域ケア推進会議 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討 ・主任介護支援専門員更新研修（1～2）
9 月	・認知症研修 ・久堀医師との情報交換・事例検討 ・ケアマネネット部会：事例検討 ・県福祉大会
10 月	・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討 ・多職種連携会議
11 月	・トイレの不安を解消する住環境整備 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討 ・ケアプラン点検（主任ケアマネ）
12 月	・認知症講演会 ・ケアプラン点検 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：ケアプラン点検を終えて ・多職種連携会議
1 月	・キャラバンメイトスキルアップ研修 ・高次機能障害研修 ・資質向上研修　年をとっても自分らしく地域で暮らすために ・ケアマネット部会：事例検討会
2 月	・上小圏域自立支援協議会　一人一人が自分らしく暮らし続けるために ・東御市地域包括ケア研修　連携をいかに深めるか ・東御レッツ号に乗ってお出かけしよう ・資質向上研修　高齢者支援における権利擁護 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット部会：事例検討
3 月	・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネット部会：今年度の反省・次年度へ向けて

＜その他の活動＞

通常業務のほか、事業所の知名度の向上を図るための情報発信等にも取り組みました。

・東御市民間事業所連絡協議会への参加

・広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載

Ⅶ　その他の福祉活動支援

１．　共同募金支会事業

（１）　赤い羽根イベント・募金活動

○街頭募金の実施　（ボランティア延べ 39 人が参加。職員は原則２名）

実施日　：　場　所	
10 月 1 日（火）道の駅 雷電くるみの里	10 月 5 日（土）道の駅 雷電くるみの里
10 月 2 日（水）やおふく 東御店	10 月 8 日（火）しなの鉄道 田中駅
10 月 3 日（木）デリシア 東部店	10 月 9 日（水）湯楽里館
10 月 4 日（金）しなの鉄道 田中駅	10 月 10 日（木）ベイシア

○戸別募金・・・行政区ごと支部長へ依頼

○学校での赤い羽根募金の取り組み　市内小中学校７校へ依頼

○職域募金の依頼　東御市役所職員、信州うえだ農協職員、東御市社協職員等

○東御市振興公社　温泉施設へ募金箱設置の依頼

○市内大手スーパー店頭へ募金箱設置の依頼

○市内企業へ企業募金の依頼

○自動販売機募金　　道の駅「雷電くるみの里」、武道館、湯楽里館、総合福祉センター

（２）　赤い羽根、歳末助け合い共同募金収納結果

◎令和元年度赤い羽根募金収納総額　　6,512,818 円

＜募金別内訳＞

募金の種類	金額	内訳
戸別募金	6,022,498	6,513 戸
街頭募金	100,387	市内６か所で計８回実施
法人募金	95,000	16 法人
学校募金	37,909	市内５校
職域募金	61,479	東御市、社協、JA 信州うえだ東御支所
イベント募金	0	
個人募金	12,310	
その他	47,150	募金箱、繰越金、利子等
送金合計	6,376,733	
自動販売機募金	136,085	県共同募金会へ直接送金
収納総額	6,512,818	

（３）共同募金会からの配分事業

令和元年度の市社協の地域福祉事業へ配分実績　　4,556,390 円

（平成 30 年度の収納額 6,410,390 円の実績から、東御市への配分金）

＜事業別配分内訳＞

事業	金額	事業	金額
高齢者への活動	1,025,000	その他	2,656,390
障害児・者	230,000	合　　計	4,556,390
児童・青少年	645,000		

（4）災害見舞金

・住宅火災　　2 件　　被災者 4 人　　20,000 円

・台風 19 号災害援護金　26 件　　130,000 円

2．日本赤十字社事業

（1）赤十字奉仕団総会及び活動資金募集会議

・期　日　　平成 31 年 4 月 24 日（水）

・場　所　　東御市総合福祉センター　講堂

・参加者　　79 人

・内　容　　赤十字奉仕団総会　　研修会　　活動資金募集について

（2）活動資金募集総額　　・支援者数　5,677 人　・寄付者　18 人　4,111,408 円

（3）健康生活支援講習会

・期　日　　令和元年　6 月 17 日（月）

・場　所　　東御市総合福祉センター　講堂

・参加者　　69 人

・内　容　　・災害が起こった時の高齢者への生活支援

講　師　　日赤長野県支部　指導講師　　滝澤　春香

牧野　綾子

（4）一日赤十字（炊き出し及び救急法講習会）

・期　日　　令和元年 7 月 22 日（月）

・場　所　　高齢者センター

・参加者　　57 人

・内　容　　心肺蘇生法（ＡＥＤ講習）　　非常食の作り方・試食

・講　師　　東御消防署職員　救急救命士　2 人

協力者　グリーンアルテミス　6 人

※9 月 1 日（日）　市の総合防災訓練で、各分団で非常食の炊き出し等行う

（5）日赤奉仕団視察研修会

・期　日　　令和元年 12 月 4 日（水）

・参加者　　11 人

・場　所　　特定医療法人　新生病院

（6） イベント協力　赤十字活動

〇子どもフェスティバルで非常食（ハイゼックス）おにぎり体験　　463 食

・期　日　　令和元年 5 月 11 日（土）

・協力者　　12 人

〇赤い羽根街頭募金への協力

・期　日　　令和元年 10 月 1 日（月）

・協力者　　29 人

〇長野県青少年赤十字東信地区小中高生交流会への協力

非常食（ハイゼックス）おにぎりの実習指導

・期　日　　令和元年 11 月 30 日（土）

・協力者　　4 人

（7） 施設ボランティア活動体験　　参加者 38 人

・期　日　　令和元年 11 月 11 日（月）～11 月 17 日（日）

・場　所　　市内福祉施設　　ケアポートみまき　11 人、フォーレスト 10 人、
ハーモニック東部　12 人

（8） 災害見舞

・住宅火災　　2 件　　被災者　4 人　　毛布　4 枚

３． 被災者義援金

（1） 東日本大震災　（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日現在）

令和元年度　　6 件　　104,803 円

（23 年からの累計　　1,130 件　　40,737,935 円）

（2） 平成 28 年熊本地震（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日現在）

令和元年度　　1 件　　34,497 円

（28 年からの累計　　104 件　　4,931,446 円）

（3） 平成 30 年 7 月豪雨災害（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日現在）

令和元年度　　31,916 円

（30 年からの累計　　14 件　　1,365,897 円）

（4） 平成 30 年北海道胆振東部地震（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

令和元年度　　31,420 円

（30 年からの累計　　1 件　　88,915 円）

（5） 令和元年台風 15 号千葉県災害（令和元年 9 月 18 日～令和 2 年 3 月 31 日）

令和元年度　　2 件　　25,050 円

（6） 令和元年台風 19 号災害（令和元年 10 月 17 日～令和 2 年 3 月 31 日）

令和元年度　　18 件　　996,723 円

４． 台風 19 号災害　被災地支援活動

（１） 支援物資

○日本赤十字社備蓄の毛布

・ 10/12　東御市内の小学校・中央公民館等の避難所に 180 枚を配布

・ 10/13　日本赤十字社長野県支部の要請により、上田市へ 280 枚を配布

○長野県社会福祉協議会所有の災害ボランティアセンター運営用資機材

・ 上田市社会福祉協議会へ災害ボランティアセンター運営用資機材（一輪車 4 台、スコップ・ジョレン 46 本）を運搬、提供

※資機材は災害ボラ用に県社協と県内社協の応援協定により上小ブロックで管理

（２） 職員派遣

○長野市北部災害ボランティアセンター（赤沼南部サテライト）の運営支援スタッフ

・ 令和元年 11 月 25 日～令和 2 年 1 月 13 日　31 日間　延べ 59 人

○長野県内社協職員災害初動時における先遣チーム（ＤＳＡＴ）の派遣

・ 令和元年 11 月 25 日から 29 日までの 5 日間、職員 1 名を派遣

（３） 被災地支援ボランティアバスの運行について

・ 11 月 16 日から計 4 日間、長野市北部災害ボランティアセンターにボランティアバスを運行、実人数 53 人、延べ 71 人（※職員 5 人、延べ 8 人含）が参加。支援活動の場所は赤沼南部サテライトセンター

（４） 災害義援金の募集　※別掲

５． 社会福祉団体活動の支援

（１） 福祉団体交流会（ボッチャ）

・期　日　　令和元年 6 月 3 日（月）

・参加者　　6 団体

・参加者　　101 人

（２） 福祉団体活動補助金　　1,440,000 円

○身体障害者福祉協会	420,000 円
○高齢者クラブ連合会	150,000 円
○手をつなぐ育成会	120,000 円
○遺族会	530,000 円
○更生保護女性会	60,000 円
○保護司会	160,000 円
合　計	1,440,000 円